

登録コード	FSE25500	開講年度	2026					
授業題目	高分子学特論					担当教員	鈴木 正浩	
英文授業名	Advanced Polymer Science I					副担当		
単位数	1	講義期間	前期(後半)	曜日・時限	火曜・2時限		対象学生	化学・材料分野
講義室	繊維3 0 番講義室			授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー非該当								
(1)授業の達成目標		【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】		
		26FS加・繊維学						
		【専攻】基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力				基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力		
(2)授業の概要		超分子という概念について学び、現在行われている応用研究から次世代材料としての有用性について学ぶ。						
(3)授業計画		本講義は100分授業である。対面での講義となるが、担当教員の都合によりオンライン授業となる場合がある。授業資料などはe-Alps上で提示する。 第1回 超分子とは何か 第2回 超分子の解析 第3回 超分子の応用 第4回 超分子の応用 第5回 超分子の応用 第6回 理解度チェック 第7回 期末試験						
(4)成績評価の方法		授業内で実施する演習や小テスト、レポート課題50%，期末試験50%で成績評価を行う。超分子に関する基礎的な知識の習得、特に、超分子の機能がどのように発現しているのかを，高分子の機能と比較しながら習得する。これらの習得を目標とし，達成度を試験・演習・ホームワークによってチェックする。						
(5)成績評価の基準		秀：超分子について深く理解し、応用力も身につけている 優：超分子の機能について全体の理解、応用力がある程度身につけている 良：授業内容を理解している（超分子に関する特有の概念を説明できる） 可：授業の基本的な内容をある程度理解している（基本的な超分子の機能を説明できる） 不可（D）：授業の基本的な内容で理解していない部分がある 不可（F）：授業の基本的な内容を理解していない						
(6)事前事後学習の内容		この授業は90 時間の学修を必要とする内容である。従って，60 時間以上の時間外学習が必要となる。講義資料の予習・復習を基本とし，さらに講義内容の理解を深めるために，超分子に関する関連論文を数本熟読する。 講義内で提示した問題や，演習・ホームワークを行う。						
(7)履修上の注意		特になし。						
(8)質問,相談への対応		メールで対応します。msuzuki@shinshu-u.ac.jp						
(9)授業の形式		講義とプレゼンテーション						
(10)学生へのメッセージ		「超分子」という意見聞きなれない言葉ではあるが、現在の材料研究には欠かせない分野であるので、基本的な概念を理解し、応用について考える						
【教科書】		特に指定しない。						
【参考書】		特に指定しない。						